

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町農業委員県外研修事業				開始年度		
基本目標	農業経営基盤の強化				終了年度		
担当課(局)	農業委員会事務局	担当係	農地農政係	記入者	松岡章子	評価者	松木成己
21年度決算	198	千円	22年度予算	215	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	146 千円		22年度人件費	145 千円		事業従事者数	0.02 人 0.02 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	農業委員会活動の円滑な運営を図るため、県外先進地の研修を実施することにより、見聞・見識を高め、委員会の資質向上を図る
事業の内容	九州管内の市町村農業委員会の先進的な諸活動や運営等を一泊二日の日程で視察研修する

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 農業委員の資質向上	見聞・見識を高めることができた
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	#	
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	農業委員の資質向上	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	他県における先進的な取り組みを視察研修することは、大変意義深く、今後の農業委員活動に必要である
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	県内では見られない先進的な活動をしている委員会もあり、大変刺激になっている
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	視察研修を行うことで意識が向上し、活発な活動につながっている 今後も予算の範囲内で最大限の効果が発揮できるよう計画していきたい
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	ない

事務事業名	高鍋町農業委員県外研修事業	担当課(局)	農業委員会事務局
-------	---------------	--------	----------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	活力ある農業の振興、農業委員会の円滑な運営と委員の資質向上を図るために必要と思われる	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎効果の上がる、しっかりとした研修体制を取らなければならない。 ◎研修は必要であるが、毎年実施する必要があるのか。2年に1回に切り替えるなど、予算の削減に努めてもらいたい。 ◎以前から、農業委員の自己資金を含めて行われてきている。
	コスト	現状維持	